



学校法人志賀学園
久之浜こども園
令和7年1月7日

新年明けましておめでとうございます。

お正月休みはお子さまと楽しく過ごせたでしょうか。

今年も子どもたちにとって良い年になりますよう、どうぞよろしく願いいたします。

1月は、凧揚げやこま回し、カルタや福笑い、羽根つきなどお正月遊びを楽しみたいと思います。羽根つきは厄払い、凧揚げには願いごとを乗せて天に届けるといった意味があるようです。昔ながらの遊びを引き継いで行きたいですね。

1月6日には、令和7年志賀学園職員の初顔合わせがあり、理事長先生より年頭のご挨拶の中で、令和7年度4月からの教育方針が示されました。

今年度の教育方針は『こどもたちのあそびを深める保育をしよう』です。昨年度の『こどもたちが「好き」なこと、ものに出会える園になろう』から、より一層踏み込んだ教育方針となり、保育者として身の引き締まる思いで受け止めました。

子どもから湧き出てきた遊びが深められるよう、十分時間を確保し、子どもに寄り添って行けるよう子ども達に関わって参ります。

今月はお正月にちなんだ数々の伝統行事も楽しみたいと思っています。

1月7日に七草を入れたお粥を食べると一年間病気をしないとされています。春の七草とは、セリ・ナズナ・ゴギョウ・ハコベラ・ホトケノザ・スズナ・スズシロです。

お正月につい食べ過ぎて疲れた胃腸にとっては、優しい食べ物ですね。

11日は鏡開きですが、今年は土曜日ですので、園では一日早いのですが10日に、こども園の神棚にお供えしていた鏡餅を子どもたちと一緒に木槌でたたいて開きます。

(「割る」という言葉は縁起が悪いので「開」と表現します) 細かくした餅は、しばらくの間乾燥させ、給食の先生に揚げ餅にしてもらい、もも組以上の子どもたちで食べたいと思います。一年間元気に過ごせることを願いつつ、食べ物を大事にすること等、古来から伝わる言い伝えを子どもたちに伝えて行きたいと思います。

3学期になりますと進学進級を意識して、目に見える部分が気になり出し「うちの子は大丈夫?」とご心配される保護者の方もいらっしゃるかもしれません。

乳幼児期は、意欲的に取り組んだり、相手を思いやったり、創意工夫をしたりといった「目に見えない力」をじっくりと時間をかけて養っていくことが大切です。

この時期は、人間の土台である「根っこ」をしっかりと育てることが重要であり、この「根っこ」をしっかりと伸ばすことが目に見える部分の成長へと繋がって行くのです。

幼児期は知識を増やしたり正解を学んだりするよりも実際に五感を使って体験し

「これってなに?」「どうなっているの?」と興味や関心を広げ「おもしろい」「ふしぎ」と心が動き「もっと知りたい」「もっとやりたい」と遊びを深めて行けるよう、

職員一同、新年を迎え心新たに子どもたちに関わって参ります。